

通し番号	4408
------	------

分類番号	20-6B-22-16
------	-------------

(成果情報名) 系統豚カナガワヨークを利用した優良種豚の生産
[要約] 系統豚カナガワヨーク(大ヨークシャー種)は、造成時の遺伝的能力を保持しながら、17年間維持されている。しかし、県内生産者のより大柄で強健性に富む大ヨークシャー種種豚に対するニーズを踏まえ、体型及び肢蹄を改良目標として、民間等の優良種豚との交配を試みている。平成20年度は人工授精を実施すると同時に生産豚の体型調査(2次選抜)を実施した。
(実施機関・部名) 神奈川県畜産技術センター 畜産工学部 連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

系統豚カナガワヨークと他の優良種豚(異なる血統の民間種豚場等繋養豚)との交配による改良を試み、繁殖能力、発育、体型、強健性及び産肉性について試験する。得られた成績は、優良種豚生産の基礎データとして県内生産者に還元する。

[成果の内容・特徴]

(1) 分娩状況

今年度は民間種豚場2件及び、(独)家畜改良センターの精液を用いて15頭のカナガワヨークに人工授精を行った。うち13頭が受胎し、8頭が分娩した。(表1)

(2) 繁殖能力調査結果

生産子豚頭数は65頭、1腹平均では9.28頭であった。生時体重は平均1.82kg、3週齢体重は平均5.89kg、8週齢では20.67kgであった。離乳頭数は58頭、育成率は89.2%であった。(表2)。

(4) 産肉能力調査結果

一日平均増体重は雄795.8g/日、雌741.4g/日であり、ともにカナガワヨーク維持群の平均を上回った。背脂肪の厚さは雄2.1cm、雌2.2cm、 μ -s断面積は雄31.5cm²、雌31.1m²で、カナガワヨーク維持群と比較し大きな差は認められなかった(表3)。

(5) 体型調査結果

体長は雄106.5cm、雌108.3cmと特に雄でカナガワヨーク維持群よりも短くなる傾向が見られた。前幅、後幅、胸幅、胸深はカナガワヨーク維持群と比較して大きな差は認められなかった。

一方で管囲は、雄で18.3cm、雌で17.8cmと特に雌でカナガワヨーク維持群に比べ太くなった。(表4)

[成果の活用面・留意点]

例数を重ね、データを集積することによりカナガワヨークとの交配で最も改良効果の高い系統を絞り込む必要がある。外貌ではカナガワヨークと異なる特徴を持つ豚が生産されていることから、評価項目についても検討する必要がある。

[具体的データ]

表1 供試種雄豚及び分娩状況

繁養場所	名号	人工授精頭数	受胎頭数	分娩頭数
民間F	358 グラニート フレット [☆] ステップ [☆]	2	1	1
	643 ライトウェイ フレット [☆] グラント [☆]	2	1	1
家畜改良センター	ケニスタリオンファイブ [☆] 05-6052	1	1	1
民間S	スター0807イールト [☆] アルブ [☆] ス5-810	2	1	1
	スター21116 フィールド [☆] マーシャル 2-5	6	4	3

表2 繁殖成績

分娩腹数	生産子豚頭数	離乳頭数	育成率	生時体重 (kg)	3週齢体重 (kg)	8週齢体重 (kg)
7	♂ 33	30	90.9%	1.80	5.60	20.72
	♀ 32	28	87.5%	1.85	6.20	20.64
(合計、平均)	65	58	89.2%	1.82	5.89	20.67

(一腹平均9.28)

表3 産肉能力調査成績

雄

豚番	♂ (繁養農場)	1日平均増体重 (30~100kg)	背脂肪の厚さ (1/2体長)	ロース断面積 (1/2体長)	100kg到達日齢
201	民間F	760	2.1	30.2	168
590	民間S	812	2.2	32.9	161
638	家畜改良C	823	1.9	32.6	156
794	民間F	788	2.1	30.4	162
平均		795.8	2.1	31.5	161.8

雌

豚番	♀ (繁養農場)	1日平均増体重 (30~100kg)	背脂肪の厚さ (1/2体長)	ロース断面積 (1/2体長)	100kg到達日齢
202	民間F	752	2.1	30.5	175
204	民間F	748	2.4	31.3	181
602	家畜改良C	763	2.3	31.6	178
603	家畜改良C	732	1.9	28.8	180
605	家畜改良C	745	2.1	29.8	173
633	家畜改良C	719	2.1	32.8	183
634	家畜改良C	761	2.2	31.5	182
796	民間F	721	2.4	31.4	173
597	民間S	732	2.3	32.3	176
平均		741.4	2.2	31.1	177.9

表4 体型調査成績

雄

豚番	♂ (繁養農場)	体長	胸囲	管囲	体高	前幅	後幅	胸幅	胸深
201	民間F	114	110	18	62	33	34	28	35
590	民間S	102	102	18	63	31	33	27	33
638	家畜改良C	105	100	18	60	33	33	28	33
794	民間F	105	107	19	62	33	35	31	35
平均		106.5	104.8	18.3	61.8	32.5	33.8	28.5	34.0

雌

豚番	♀ (繁養農場)	体長	胸囲	管囲	体高	前幅	後幅	胸幅	胸深
202	民間F	114	114	18	63	35	35	30	37
204	民間F	115	117	18	62	34	34	30	37
602	家畜改良C	110	109	17	63	33	32	28	26
603	家畜改良C	105	104	18	63	31	34	28	35
605	家畜改良C	107	105	19	62	33	33	28	34
633	家畜改良C	107	108	18	62	34	35	30	35
634	家畜改良C	108	105	18	63	33	36	30	36
796	民間F	105	105	17	59	33	33	29	35
597	民間S	104	105	17	63	31	33	28	36
平均		108.3	108.0	17.8	62.2	33.0	33.9	29.0	34.6

[資料名] 平成20年度試験研究成績書(繁殖工学・養豚・養鶏)

[研究課題名] 系統豚カナガワヨークを利用した優良種豚の生産

[研究期間] 平成19年度～

[研究者担当名] 山本 禎・西田浩司